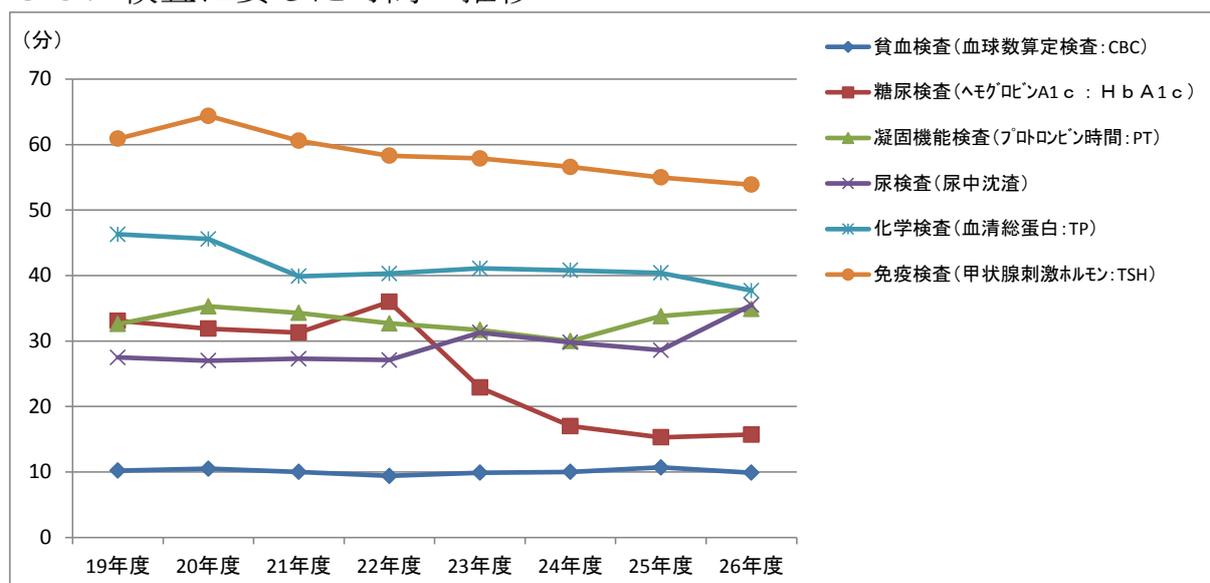


8 5. 検査に要した時間の推移



外来患者における血液や尿などのスクリーニング、モニタリング的に実施される検体検査の結果提出時間の短縮は、サービス向上は元より質の高い医療の提供には必須の条件である。近年、分析装置の性能向上も寄与するところはあるが、臨床検査部の改善努力により、報告時間は年々短縮傾向にある。また、採血行為自体の待ち時間の改善は、待合案内システムの導入等を進め改善はしているが、一時的な患者の集中による混雑など今後の課題である。

業務運用改善による報告時間の短縮は、分析反応時間を考慮すると現時点においてほぼ限界に近い状態にあり、今後は、分析装置の更なる性能向上や検体の搬送運搬などソフト面の改善も含め更なるサービス向上を進める必要がある。

データ提供 臨床検査部